

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会  
460-0017 名古屋市中区松原 1-17-6 朝日軒ビル3階

**HD** ニュース  
No. 70  
2019. 3. 15

今後の予定／於：事務所会議室

3月19日(火)18:00～ マンション・ビル大規模修繕研究会

3月19日(火)19:00～ 研修会

(ドローンなどを使った建物状況調査※デモンストレーション有り)

3月28日(木)18:30～ 木造技術研究会

4月4日(木)18:00～ 役員会

## 地震大災害などと建築士業務を考える

理事長 滝井幹夫

去る3月11日で「東北大震災」から8年が経ちました。改めて犠牲者への哀悼の意と、被害に合われた方々へのお見舞いを申し上げます。

プレート型の最大震度7による地震被害は、死者・行方不明者1万8千余名、重軽傷者6千余名、建物全壊12万棟余、半壊28万棟余を数え、当初の避難者は推計47万人とされています。

この地震の特徴は、大津波の発生、福島第一原発の爆発事故、液状化、地盤沈下を伴い、死者・行方不明者の約9割は津波による溺死であり、その後の長引く仮設住宅・避難所、避難先などでの過酷な生活によって、2018年9月末までの震災関連死も3千7百余名を数え、その内約4割は原発関連が占めています。

8年経った現在も避難者は約5万2千名で、約8割は原発事故によるものが占めています。

避難区域となった福島県を除き、道路や住宅などのインフラ整備は進んでいますが、震災で賑わいを失った地域が多く、人々の暮らしが元に戻ったわけではありません。更に、国が支援する復興期間が2020年度末で終わることに、不安を覚えます。

そればかりではありません。原発事故の真相解明に至らず、解体・廃炉の長期化、汚染物質・汚染水の処理・保管先も十分な見通しが立ちません。今後も長期にわたる困難を抱えるものと考えられます。

昨今は東北大震災以後も様々な災害が頻発しています。ざっと、振り返ってみましょう。

**[熊本地震]** 2016年4月14日

最大震度7が連続して発生。古い家屋倒壊による死者が多く熊本城天守閣などの公共建物の被害も多い。直接死50名、関連死212名、負傷2千8百余名 建物全壊8千6百余名棟、半壊3万4千余棟

直下率の影響の指摘がされた

**[大阪北部地震]** 2018年6月18日

最大震度6弱 学校のブロック塀倒壊により小学児童の死者発生—ブロック塀安全対策が進む。

死者6、負傷者443名、

建物全壊18、半壊517棟

(当NPO法人はブロック塀に限定せず、ブロック擁壁対策も必要と考えて愛知県・名古屋市への申し入れを行った。)

**[北海道胆振東部地震]** 2018年9月6日

最大震度7、土砂崩れが多く発生

死者42、負傷者762名

建物全壊462棟、半壊1570棟



国立研究開発法人建築研究所他による調査報告書より

**[九州北部豪雨]** 2017年7月5日～6日

雨量169ミリ/時 線状降水帯

河川氾濫・洪水、流木・土砂ダム災害、屋内被災者が大半。

死者40名、行方不明2名

建物全壊336棟、半壊1096棟、

床上浸水180棟、床下浸水1481棟

**[西日本豪雨]** 2018年7月7日～8日

長時間・最大雨量計1800ミリ超

線状降水帯15か所、広範に被害発生、河川氾濫、土砂崩れ多発。

死者224名、行方不明者8名、負傷者459名  
建物全壊6758棟、半壊1万878棟、

床下浸水8567棟、床下浸水2万1913棟

【台風21号】 2018年9月4日

最大風速45mを観測

関空連絡橋へタンカー衝突。

死者13名、負傷者912名、

建物全壊9棟、半壊46棟

個々の建物にどれだけの熱い想いを傾注して造ったとしても、津波で一瞬にして多くの街並みが壊滅し、原発爆発事故では建物が無傷でも、人が住めな

くなる街並みが出現した「東北大震災」の一種の無力感を繰り返したくありません。

南海トラフ大地震が想定される地域に暮らし、建築の専門家として設計・監理などに携わる私たちは、建物を安全・安心、使い易い、長持ち、生活の変化に対応、心地良い、デザイン的に洗練などのニーズに応えるだけでなく、街づくり、都市政策への提言も出来るようにしたいものです。

建物や町並みが破壊される関連で言及するなら、世界各地で戦争・紛争が繰り返されています。災害と同様、あるいはそれ以上に人々の努力を無にし、破壊するのが戦争です。その現われに対して敏感に反応し、平和を守る努力が不断に大切と思います。

## 「伊勢・鳥羽歴史探訪と牡蠣食べ放題の旅」レポート

(株)想設計 石川健人

今年で2年連続2回目の「牡蠣食べ放題の旅」を3月2日に行いました。

最初に向かうのは、昨年同様、「伊勢神宮・おかげ横丁」。そして、昨年は行けなかった猿田彦神社へ。最初の目的地に向かう道中、津島勝弥さんから猿田彦神社の歴史・由緒について解説があり、事前に知識を得た状態で見学が出来ました。車内での津島さんによる解説は、今回の旅を通して「猿田彦神社」、「旧鳥羽小学校校舎」、「中部日本ビルディング」と3回行われました。準備など大変であったと思いますが、大変役に立ちました。(感謝です！)

「猿田彦神社・おかげ横丁・伊勢神宮」での自由散策は丁度、小腹が空く時間とあって、伊勢うどん、赤福餅、お団子、コロッケなど次々と食の誘惑が襲い掛かって来ます。しかし、この旅のメインである「牡蠣食べ放題」に備えるためグッとこらえ日本酒1合のみにして、バスに無事帰還します。するとバス中では、すでに陽気なメンバーが…

そして、「牡蠣食べ放題」の会場へ到着。昨年とは違い屋外バーベキュースタイル。しかも、お店の人が座席を即席で作って行きます。まさにワイルド！今回は、昨年の炭火でなく薪火で焼いていきましたが、これがなかなかの曲者で終始、煙と格闘する事になります。(この煙による目への刺激が、花粉症である私

自身の目のかゆみを治療する粗治療あって、完治すればと願ったものです。)

そんな煙と闘いながらの牡蠣食べ放題の宴が3時間ほど続きました。屋外スタイルとワイルド感が時間を忘れさせ、楽しい時間を作り上げたかは定かではありませんが、予定時間を大幅にオーバーして「旧鳥羽小学校・鳥羽城址」見学へ向かう事となりました。

「旧鳥羽小学校校舎」は、明治6年に三重県下最初の鉄筋コンクリート造の校舎として建設された鳥羽尋常高等小学校です。



旧鳥羽小学校 正面南側より

そして、「旧鳥羽小学校校舎」の後に予定されていた「中部日本ビルディング」見学は時間が押していたため割愛され、今回の旅は無事終わりとなりました。

「牡蠣食べ放題の旅」を企画してくださった、関係者の皆様お疲れ様でした。

そして、楽しい時間をありがとうございました。

■三役会 2/7 18:00~20:00

収支の確認と新入会員、各委員会活動について。

既存住宅調査技術部会の運営について。

東海ろうきん助成事業応募について。

■相談委員会 2/19 18:00~19:30

電話相談報告。調査機器について。電話当番決め。

既存住宅調査技術部会が対応した2件の案件についての報告。

■研修委員会 3/2 8:00~18:00

鳥羽研修見学の開催。